



第4回移民政策研究会

8月17日（月）霞が関日比谷中日ビルのシーボニアメンズクラブで開催。第1回以来、当財団は本研究会を後援している。

出席者：国松、磯山、麻植、鈴木、戸田、毛受、李各氏他計8名。

毛受敏浩氏提案の「国難を乗り越え明るい未来を創る一定住外国人受入れビジョン」案を中心に討議と意見交換。

外国人の受入れが必要という「日本側の必要性」だけでなく、世界的に人の移動、人材獲得が活発化していく中での視点も必要との指摘があった。

別の論点として、一部要望のある移民庁の新設でなく、横断的に移民政策を担当する専門部署の設置などを討議した。



（麻植 茂記）